

1 令和5年度第4回定例会

日 時： 令和5年10月25日（水）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 中央図書館活動室2・3

出席者： （図書館協議会委員）委員5名
（事務局）図書館長、企画運営担当主査2名、総務担当主査
総務担当主任

会長 本日は委員2名が欠席である。多摩市図書館協議会規則第4条により令和5年度多摩市図書館協議会第4回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をする。

事務局 配布資料確認。

会長 議題1 令和4年度図書館事業評価（外部評価）について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料1については、図書館協議会定例会の第2回・第3回で外部評価していただいた内容をまとめたものである。一通り確認していただき、外部評価の部分を決定していきたいと考えている。また、前回の会議で評価項目にある図書館の自己評価と実施結果の内容が重複しているとの指摘を受けたので、赤字で加筆・修正をしたので、あわせて確認していただきたい。加筆・修正した箇所は、P7・8・10・13・14・16の部分である。内容に問題がなければ、見え消しの部分は、削除して黒字で印刷する方向である。

今後の流れとしては、図書館の自己評価及び図書館協議会の外部評価の内容について修正した点を再確認していただき、図書館の今後の方向性を加えた上で内部決定をし、11月中旬頃には公式ホームページに公開できればと考えている。また、図書館の自己評価及び図書館協議会の外部評価の内容については、次年度の計画に反映したいと考えている。今回は、修正した箇所について、ご意見をいただきたい。

会長 事務局から説明のあった議題1について、質問、意見等があれば発言をお願いします。

委員 P7で修正した箇所について、実施結果に記載されている表記と実際に手元にあるブックリストの表記に相違があるのではないか。

- 企画運営主 ブックリストの作成については、微細な点についても随時修正している場合があるので、実施結果の表記と違ってしまふことがある。実施結果の表記の仕方を改訂作業等に変更することを検討する。
- 会長 全体的な構成についてだが、評価項目に対して、実施結果が番号で対応しているところとそうでないところがあり、ばらつきがあるとお話させていただいたが、その部分が修正はしていないように見受けられる。
- 図書館長 ご指摘いただいていた点が修正できていなかったもので、番号で対応するように修正する。
- 会長 P 6 の最後にある図書館協議会の外部評価内容に実施結果と図書館自己評価の内容が同じになっているとの記載があるが、図書館側で修正していただいたということによいか。
- 図書館長 そのような点がある箇所については、修正させていただいた。
- 会長 では、この記述は、なくしてよいということになるか。
- 図書館長 こちらの外部評価は、そのまま残していただいても問題はないかと思う。
- 副会長 こちらの記載は、残していただいてもいいかと思う。
- 図書館協議会の外部評価で指摘した項目について、内容を修正しているのであれば記載内容は残しながら、追加でかっこをつけて対応済と表記してはどうだろうか。
- 会長 皆さんは、いかがか。記載は残しておいて対応する。
- 会長 見え消しについては、あえてそうしたということか。
- 図書館長 現段階で検討中なので修正したことが分かるようにさせていただいた。
- 会長 見え消しの部分で P 1 6 にある文章に表現の誤りがあるので、確認して欲しい。図書館の責任で正しく修正していただければと思う。
- 委員 P 1 3 の見え消し部分についても表現の誤りがあるので、確認して欲しい。
- 図書館長 正しく修正させていただく。
- 会長 P 9 にある図書館協議会の外部評価にある「配慮が必要な・・・」の部分について、「支援が必要な・・・」に変更したほうがいいのではないか。
- 委員 自分が意見したものになるが、「支援が必要な・・・」の表現にそろえたほうがいいかと思う。
- 会長 ご意見のある通り、変更をお願いします。

- 会長 今回検討した内容を受けた上で原稿が確定するので、気になる点があればご意見をいただきたい。
- 図書館長 事務局で皆さんからいただいた意見を外部評価として記載したので、表現の仕方やまとめかたに誤りがないか確認していただきたい。
- 委員 外部評価を加えたい箇所がある。
P 6にある障がい者サービスの充実のについての取り組みについて、評価できるが、多くの市民に周知できていないように感じる。より幅広く知ってもらうための努力をして欲しい旨を要望として追記したい。
- 会長 要望になるか。
- 委員 さらに要望になる。市民に知らせる努力をして欲しいということになる。
- 図書館長 障がい者サービスが市民にさらに周知されるとよいと追記する。
- 委員 P 1 4にある図書館協議会の外部評価にある①の最後の表現がおかしいので、直して欲しい。力を入れていくことを望むとする。
- 図書館長 修正させていただく。
- 会長 図書館の自己評価と図書館協議会の外部評価について、全体の表記の仕方をあわせたほうがいいのか。
例えば、P 5・6にある外部評価は、さまざまな表現をしている。
「評価できる」という記載だったり、委員の要望・意見にとどまっている記載だったりしている。これは、そのままでいいのか皆さんに確認していただきたい。
- 図書館長 事務局側で聞き取りをした内容をそのまま文章におこしており、こちら側で故意に「評価する」という表記に記載することはできないと考えているので、そのままのご意見を記載しているのが現状である。
- 会長 あいまいな部分を修正すればいいと考えているので、全てを同じにするということではないので、そのままでも構わないと思う。
- 図書館長 P 1 3【取り組み8】について、評価項目が他に比べて数がすくないので追加で評価項目があればいただきたい。
- 委員 ④にある学芸員との取り組みについては、非常に良い取り組みであったと思うので評価に値すると思う。一層の連携・協働

をしてくれることを期待している。

委員 ③にあるデジタルアーカイブの取り組みについて、取り組みについて努力は認めるが、より便利な活用促進について市民に事例等を紹介しながら周知していただきたい。

図書館長 デジタルアーカイブについては、いろいろな案内をさせていただいている。やまばと通信において使い方を掲載した実績がある。やまばと通信への掲載回数を増やす等検討してみる。実際は、アクセス数も増えており、今年度は地域でのお祭り等でアーカイブ動画を流しながら説明等を実施している。

視察の際には、電子書籍とアーカイブの利用促進については、セットで周知活動をしており、今後もさらに行っていききたいと思う。

副会長 委員と同様に③にあるデジタルアーカイブの取り組みは、評価すべきものだと思う。下から2行目の文章の表現を修正していただければと思う。今後のさらなる利活用に努めるとすればいいのではないか。

P5にある外部評価の三つ目の末尾について、示されるべきであると表記したほうがいいのではないか。文言を「べき」にすると評価になりうるのではないか。

評価なのか希望なのか、もやもやしている部分がある。

会長 外部評価にある末尾表記の問題で「必要である」や「取り組むべきである」等と差異があるので統一するか、来年の課題とするかの提案があった。

委員 書き方については、図書館側も大変苦慮しており、山梨県立図書館の外部評価の文末表現をみると表現の筋が通っている。

この部分で直せる箇所があれば直して、あとは来年の課題とすればいいのではないか。

図書館長 要約しながら、文章をおこしているのもそのままでの発言が記載されている。よって、評価として書ききるの難しい。一通り確認していただきたい。

副会長 委員側の発言もはっきりとした表現にしたほうが良いということになる。

会長 委員の意思を的確に伝えられるようにしたほうが良いということだ。意見を統一したほうが良いという意見もある。

委員 図書館の実情を考えると「すべきである」とは言えないところもある。

会長 全てを直そうと思えば、直すこともできる。

- 委員 P 1 2③については、取り組んでくれることを期待したいと変更できるかと思う。
- 会長 すべてにおいて修正するのであれば、表現のカテゴリーを作ってやらないといけないと思う。
- 副会長 各委員の発言について、書きっぷりを全て統一するとなると全ての項目に対して細かく確認をして、表現の強弱を段階に分けることになるのではないかと。「取り組んで欲しい」と「取り組むべきである」という表記には大きな違いがあるように感じる。委員がどの程度のレベルで主張しているのか明確にしたほうがいいのか。統一する方法もあるが、なかなか難しいと思われる。今回はこのままにして、来年度は表現について明確にするということもできる。
- 会長 今、この場でルール決めができないのであれば、来年の課題としてもいいのではないかと。現段階で修正したほうが良い箇所のみをご意見いただければと思う。
- 委員 皆様のご意見を聞いていて、的確に文章をおこすのは非常に難しいなと感じる。特に外部評価については、疑問はないが、伝え方については参考になるご意見があつて勉強になる。
- 会長 今年度については、今一度末尾の表記の部分のみ、各協議委員で再度確認していただき、来年度についてはもう少し表記の強弱がつけやすいように表記のルール作りを検討してはどうか。
- 図書館長 図書館協議会に外部評価していただいたものは、再度各委員に確認していただき、修正があれば事務局に連絡してもらい、最後はまとめて会長に確認していただき確定できればと考えている。
- 委員 ご意見に賛成である。今一度、自身が発言した内容を思い起して文章の確認をしたいと思う。
- 会長 文章の末尾表記にばらつきがありそうなので、その部分だけチェックすればそれ以外は、問題はないと考える。発言した者に責任があるわけではないが、自身で発言した想いを再度思い起こして皆さん、表記の確認をしていただければと思う。
- 会長 議題2「第二次多摩市読書活動振興計画」策定について（案）について、事務局より説明をお願いします。
- 図書館長 多摩市教育委員会では、平成28年5月に「多摩市読書活動振興計画」を策定し、この計画期間が令和6年度で終了することから今後の計画策定について案をお示ししたことになる。計

画の基本的な考え方は、資料にある通り①「多摩市読書活動振興計画」と対象が18歳以下とした「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」の二本立てだった計画を統合し「(仮)第二次多摩市読書活動振興計画」を策定する。

②としては、「多摩市立図書館の基本方針・運営方針」にある「市民の「知る」を支援する」の実現を目指し「多摩市子どもの読書活動推進計画」との統合と図書館協議会からの意見を踏まえ内容の見直しをする。

③としては、各館の地域の特性や利用者の特徴、ニーズを踏まえた取り組みをする。

④としては、唐木田・東寺方の運営手法について方向性を検討する。

⑤としては、計画期間を令和7年から11年度の5年間とする。

これらの内容のスケジュールとして、データ分析や委員会設置要綱の制定、アンケート準備を開始し、策定委員会を開催し素案を決定する予定としている。計画の決定については、スケジュール的に令和7年度の上半期としている。

策定の体制は、外部の学識経験者等の14名と関係課長等の10名としている。意見照会については、①～③を考えている。

また、市民参画としてアンケートや説明会等を実施して様々な意見を素案の段階で実施し、参考にしていければと考えている。

これらの内容で方向性が決まったら、11月には教育委員会で決定する予定である。

会長 事務局からの説明のあった議題2について、質問、意見等があればお願いします。

会長 計画策定スケジュールで計画の決定が令和7年度上半期となっているが、そのスケジュールで問題はないのか。

図書館長 特に支障はない。令和6年度に計画決定をすることはスケジュール的に難しく、令和7年度にすでに事業は進行しているが、決定は令和7年度に入ってからとしている。

会長 ④にある唐木田図書館、東寺方図書館の運営に関しては、2館だけの運営方向の見直しか。

図書館長 あくまで2館の運営に関して、どういった方向性にするかを決定するにとどめる形になるかと思う。

補足で策定委員の体制について、今回は庁内からの選出だけ

でなくバランスよく構成した外部委員等で計画策定を検討していければと考えている。

また、障がい者福祉の関係者の方にも参加してもらうように検討したいと考えている。

会長 前会長からも図書館協議委員の選出についても障がい者の方の参加も検討して欲しいという要望もありました。

会長 報告1 多摩市立中央図書館開館後の利用状況等について（令和5年7月1日～9月30日）について、事務局より説明をお願いします。

図書館長 こちらの資料については、前回の協議会において7月分のみの開館後の利用状況をお示したところだが、今回は9月分までの利用状況が確定したので確認していただければと思う。入館者数と貸出者数については、表記にあるグラフの通りとなっている。10月についても来館者数・貸出者数も同数の見込みとなっている。新規利用登録者数についても現在は落ち着いてきたところである。登録者数は、7月から8月までの2ヶ月間でほぼ昨年度の全館分の新規登録者と同数という非常に多くの方に登録をしていただいた。

年代別の利用状況については、グラフの通りで分析結果を記載させていただいている。若い方から子育て世代の利用が非常に伸びていることが分かる。

以下は、実施したイベントや取材等を記載した。

会長 事務局からの説明のあった報告1について、質問等があればお願いします。

会長 年代別利用状況ですが、同じパーセントであっても母数が違うので実は、何倍にもなっていることもあるのでよく読み取らないといけない。おおむね3倍以上ということになる。親子世代が顕著に伸びている。

委員 50周年記念イベントがありすぎるくらいある。職員がイベント業務に振り回されていて本来の業務が出来ていないように感じ、職員のことを心配している。

本の貸し出しで、借りたい本があったがその本が他館にあることが分かった。しかしながら、取り寄せをするかどうかの職員からの案内がなかったとの友人からの話があった。本来やるべきサービスが出来ているのか、忙しすぎるのではないか、イベントばかりでなく職員もゆとりをもって仕事をしてもらいたい。

図書館長 今回は、開館イベントと50周年記念イベントがちょうど同じ時期に重なってしまったこともあって業務量が多くなってしまったことは確かである。ただ、50周年記念イベントにおいては、これまで市民として協力していただいた方を中心にお手伝いいただいているところである。

 今年度12月末で一旦は、一区切りがつくかと思う。

 再度カウンター業務については、いただいた内容を職員に共有し是正していきたい。

 現在は、カウンター業務とイベント業務を区別しており、物流が増えたことは確かなので、そこに対しては補助スタッフも採用して業務が滞りなくまわるよう確保しているところである。

会長 次回の協議会は年明けの実施となる。

 事務局からの修正確認依頼を受けたのち、確認をしていただければと思う。

会長 すべての議事は終了した。

 本日の第4回定例会は終了する。